

# 明るい選挙推進だより

第29号

平成31年3月

発行 新発田市明るい選挙推進協議会  
新発田市選挙管理委員会  
新発田市中央町4丁目8番11号 ☎(0254)22-3030(代)



(新発田市長選挙 開票風景)

## 今年は亥年 選挙の年だ 皆さんの声を一票に託しましょう

投票参加で地域の活性化を



新発田市明るい選挙  
推進協議会  
会長 高澤 榮松

今年も明推協運動にご協力願います。

恒例の市民書初め大会を開催しましたところ、大勢の皆様から出品をしていただき感謝申し上げます。成人の部の出品数に比べて若い世代の第2部門(高校生)第3部門(中学生)の出品数が例年よりも少ないように感じられ、色々と事情があったことでしょうか残念でした。

平成の最後となる年を迎えました。

今年には選挙の年と言われています。四月に統一地方選挙があり、夏には参議院議員の半数が三年ごとに改選される通常選挙が実施されます。

新潟県議会議員の選挙が四月七日(日)に、新発田市議会議員の選挙が四月二十一日(日)に実施されます。

この選挙は、地方創生の担い手を選ぶ大切な選挙であり、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現と今後の地方自治の方向を決める重要な選挙であります。

このところの選挙では、投票率が低下してきています。特に、若年層の低さが指摘されます。一人ひとりが有権者としての自覚を持ち、選挙の意義を認識して候補者の政策、主張を十分に見極めて、積極的に投票をしましょう。

## 亥年選挙とは

今年(31年)は3年ごとの参議院選挙と4年ごとの統一地方選挙が重なる12年に一度の年です。  
十二支と同じ周期のため、常に亥年に当たることから「亥年選挙」と呼ばれています。

### ●新潟県議会議員一般選挙

告示日 3月29日(金)  
投票日 4月7日(日)

### ●新潟田市議会議員一般選挙

告示日 4月14日(日)  
投票日 4月21日(日)

※投票時間はいずれも  
午前7時から午後8時まで

### ●参議院議員通常選挙

任期満了日 7月28日

## イオンモール新発田に 期日前投票所を開設

新潟県議会議員一般選挙から新たにイオンモール新発田2階に期日前投票所を開設します。

### ●期間

4月2日(火)から  
4月6日(土)まで

### ●時間

午前10時から午後7時まで

中央期日前投票所(市役所別館)及び各支所の期日前投票所も従来どおり開設しますので、最寄りの期日前投票所をご利用ください。

## 選挙用ビラの配布解禁へ

平成31年3月1日から、候補者の政策等を有権者が知る機会を拡充することを目的に、これまで認められていなかった都道府県や市の議会議員選挙において、選挙用ビラの使用が解禁となりました。

今年4月の統一地方選挙での選挙運動用ビラの配布が可能になります。

## 若者への啓発活動

昨年の市長選挙前10月19日・24日に敬和学園大学の1年生を対象に、選挙の歴史や重要性などを説明し、これからの社会を支える学生に選挙の参加を呼びかけました。



(敬和学園大学での啓発風景)

みんなで投票。みんなで参加。  
あなたの一票大切に

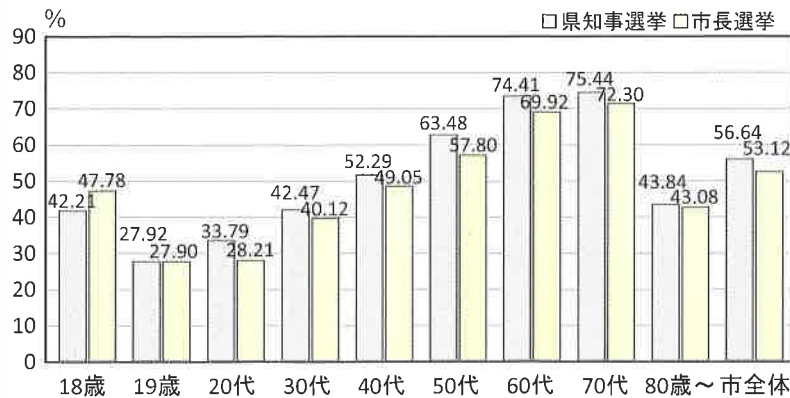


## 新潟県知事選挙 新発田市市長選挙 年代別投票率

### 『若年世代の投票率が課題!』

左のグラフは、昨年(30年)の新潟県知事選挙及び新発田市市長選挙の年代別投票率を表したものです。

どちらの選挙も同じ傾向を示しており、60代・70代が高く、19歳や20代の若者が低い結果となっています。依然として若年世代の投票率の向上が課題となっています。



## 憲法改正国民投票とは?

### ●国民投票の主な流れは?

憲法改正の手続きは、法律が衆参両院の過半数の賛成で成立するのに比べて難しくなっています。

#### ①憲法改正原案の国会への提出

憲法改正原案を国会へ提出するには、衆院で100人以上、参院で50人以上の賛成者が必要となります。

#### ②憲法改正の国民への提案

国会議員により憲法改正案の原案が提案され、衆参各議院において憲法審査会で審議され、過半数の賛成で可決されたのちに、本会議に付されます。

両院それぞれの本会議で総議員の3分の2以上の賛成で可決した場合、国会が憲法改正の発議を行い、国民に提案したものとされます。

#### ③国民の承認

憲法改正案に対する賛成の投票の数が投票総数の2分の1を超えた場合は、国民の承認があったものとなります。

※憲法を改正するところが複数ある場合、憲法改正案は、内容において関連する事項ごと提案され、それぞれ改正案ごとに一人一票を投じることになります。

### ●誰が投票できるの?

国民投票の投票権は、満18歳以上の日本国民が有することとされています。

# 新発田市明るい選挙推進 市民書初め大会

多くの市民の皆さんから「明るい選挙推進運動」に参加していただくことを願い、毎年実施している書初め大会も44回目を迎えました。

作品課題は、「新しい年」、「夢見る心」、自作の短歌など、成人から園児までの6部門に864点の応募があり、金賞74点などが選ばれました。

2月9日(土)・10日(日)に生涯学習センターで入賞・入選作品280点を展示し、約600人の方に来場いただきました。



## ●金賞入賞者

- 【第一部門・成人】 田村邦彦(五十公野) 斎藤正雄(住吉町3) 宮澤紀子(上館) 北澤知代(新潟市東区) 笠原こずえ(大柴町2) 古津加代(上赤谷) 二瓶和子(山崎) 五十嵐堯(舟入町2) 本間真澄(中央町5) 佐藤小夜子(米倉) 藤原カツイ(小舟町3) 斎藤寛美(上館)
- 【第二部門・高校生】 酒井愛果(豊栄2年)
- 【第三部門・中学生】 3年 石澤幸来 坪谷恋奈 松野芽衣花(佐々木)▽2年 佐野太玖 田中敦也 和田かな子 野澤柊陽(第一) 若月由美(東) 市川可成(七葉) 石澤心結 佐藤穂乃華(佐々木) 増田千華(紫雲寺)▽1年 田邊皓晴 細井冬彩 四津谷茉梨 須貝紗羽 樋口空夏 船山大地 宮村夢衣(第一) 後藤蒼乃美(佐々木)
- 【第四部門・小学生】 6年 坂井菜々香 上村愛梨 長谷川璃佳(外ヶ輪) 長田暁太(猿橋) 笠原

- 龍之介(御免町) 佐藤葵光(東豊) 野村日向子(東)▽5年 町田和音(猿橋) 師橋菜凜(御免町)▽4年 長谷川美波(外ヶ輪) 船山美空 四津谷舞歩 笠原曉子 加藤ひまり 中村芽生(御免町) 工藤悠太(二葉) 阿部純美(加治川)
- 【第五部門・小学生】 3年 長谷川小雪(外ヶ輪) 小野寺萌彩 近夜希 樋口暖人(御免町) 亀山歩識(東豊) 小野叶夢(川東)▽2年 大針晴翔(外ヶ輪) 長谷川文佳(猿橋) 仁木凜太郎(二葉) 村山涼聖(加治川)▽1年 広瀬岳 加藤結心(外ヶ輪) 木下皓登(御免町) 中戸幹太(東豊)
- 【第六部門・園児等】 河内進悟 山田結聖(三の丸保育園) 石井日和(まごころ保育園) 本間旬(すみよし保育園) 丹呉袖月 近藤香歩(御免町幼稚園) 近杏梨(わかば幼稚園) 木下なおき 大針ひとと 大針のか(日本習字新発田支部)

# 政治への参加はまず一票から

あなたの地域の参加度は？

平成30年11月18日執行 新発田市長選挙投票結果

投票所	有権者数	投票率	投票所	有権者数	投票率
東町公会堂	937	55.39%	下中山公会堂	438	61.19%
地域交流センター(あおり館)	2,874	56.78%	菅谷コミュニティセンター	773	66.49%
新栄団地市営住宅集会所	1,530	39.54%	下石川公会堂	620	63.06%
生涯学習センター	3,869	51.72%	メ切ふれあい交流センター	850	64.47%
御免町小学校	2,786	52.33%	上館公会堂	1,576	52.66%
第一中学校	2,674	50.26%	三田市早道場集落開発センター	1,325	52.68%
総合健康福祉センター(いきいき館)	1,216	54.36%	佐々木公会堂	1,058	44.80%
西新発田高等学校	2,360	51.53%	佐々木コミュニティセンター	1,204	47.43%
猿橋中学校	3,960	46.34%	西葭口公会堂	422	59.24%
中曽根公会堂	2,860	45.77%	鳥穴・砂山公会堂(旧鳥穴保育所)	255	54.90%
東豊小学校	4,234	50.24%	豊浦支所	1,479	57.94%
島潟生活改善センター	429	58.74%	加治万代ふれあいセンター	316	62.03%
中井保育園	935	54.55%	荒橋小学校	984	55.18%
七区公会堂	1,020	55.49%	切柵公民館	303	63.70%
住吉コミュニティセンター	6,270	45.92%	天王小学校	636	52.20%
新発田高等学校「杉原記念館」	4,112	51.14%	中ノ目新田ふれあいセンター	550	58.18%
青少年健全育成センター	2,803	52.27%	戸板沢公民館	98	67.35%
五十公野コミュニティセンター	2,714	55.86%	上本田公民館	928	52.26%
天ノ原保育園	1,654	56.89%	中之通集落センター	487	41.89%
松浦農村環境改善センター	702	55.56%	温泉公民館	883	48.24%
松浦村環境改善センター	628	60.03%	滝沢ふれあいセンター	136	70.59%
松岡公会堂	389	59.90%	健康プラザしゅうんじ	1,425	61.89%
米倉農村環境改善センター	426	58.69%	上真ふれあいセンター	885	60.00%
大槻集落開発センター	315	62.86%	大島体育館	377	61.54%
山内公会堂	197	57.87%	米子保育園	769	54.36%
中々山公会堂	87	79.31%	紫雲寺地区公民館西部分館	812	49.14%
中央公民館赤谷分館	200	70.00%	藤塚浜保育園	1,736	49.60%
滝谷新田集落ふれあい交流センター	125	64.80%	住田営農研修センター	489	66.26%
農村婦人の家	35	57.14%	加治川さわやかルーム	552	57.79%
川東コミュニティセンター	1,581	56.42%	泉地区世代交流センター	641	57.72%
宮古木コミュニティセンター	345	70.72%	加治川地区公民館中川分館	1,138	61.34%
新発田竹俣特別支援学校	842	60.33%	加治川コミュニティセンター(旧新金塚小学校)	1,576	52.41%
坂山地域利用改善センター	389	67.10%	相馬営農研修センター	209	76.56%
田貝集落ふれあいセンター	167	64.67%	加治川地区公民館金塚分館	650	65.69%
下岡田公会堂	472	47.88%			
小戸公民館	254	69.29%	新発田市全体	82,971	53.12%

# 一票のチカラ、みんなの力

## 組織

「明るい選挙推進協議会(明推協)」は、①選挙違反のないきれいな選挙が行われること、②有権者がこそって投票に参加すること、③有権者が普段から政治と選挙に関心を持ち、候補者の人物や政見、政党の政策などを見る眼を養うことを目標に、全国約8万人のボランティアの方々とともに活動している団体です。

## 明るい選挙とは

私たち国民が、買収や供応といった選挙犯罪や、義理人情などによるゆがんだ選挙を排し、選挙が公正かつ適正に行われ、私たちの意思が政治に正しく反映される選挙を「明るい選挙」といいます。

そして、この「明るい選挙」をすすめるための運動が「明るい選挙推進運動」です。この運動は、私たちの一票が正しく投票されることを目的としており、同時に国民一人ひとりの政治に対する関心と意義を深めていくものです。

## 主な活動内容

### ○街頭啓発

選挙のたびに、市内の大型店舗において政治参加、棄権防止の呼びかけを行っています。



(県知事選挙での啓発活動)



# 明るい選挙推進協議会

### ○研修会

選挙等に関する理解を深めるため、選挙管理委員会事務局を講師に迎え、研修会を開催しています。

また、今年度は12月に「新潟プラスチック油化センター」を見学しました。家庭から排出される資源ごみをリサイクルするための選別・圧縮梱包処理を見学し、資源ごみに関する理解を深めました。



(12月17日の見学風景)

### ○議会傍聴

市政や県政に対する関心を深め、また、議会議員の活動を知るため議会傍聴を毎年実施しています。

今年度は市議会9月定例会の一般質問、県議会12月定例会の連合委員会を傍聴しました。



(9月12日の市議会傍聴)

### 推進員募集

新発田市明るい選挙推進協議会は、随時推進員を募集しています。

民主政治の健全な発展を図るため、新発田市における選挙人の政治意識の高揚に務め、明るい選挙を推進することを目的とし、「総務」、「啓発」、「広報」、「研修」の4部会で構成し活動しています。

関心のある方は、選挙管理委員会事務局へお問い合わせください。

## みんなで徹底しよう

### 「三ない運動」

政治家が、選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。

違反すると、処分されます。

また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。

「贈らない！」

「求めない！」

「受け取らない！」

- お歳暮やお年賀
- 入学祝・卒業祝い
- 病氣見舞い
- 秘書等が代理で出席する場合の結婚祝い
- 秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典
- 葬式の花輪・供花
- 落成式・開店祝の花輪
- 町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差入
- お祭りへの寄附や差入
- 地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差入



贈らない・求めない・受け取らない

寄附禁止のルールを守って、明るい選挙を実現しましょう。

## 平成31年度任期満了となる選挙

選挙名	任期満了年月日
新潟県議会議員一般選挙	2019年 4月 29日
新発田市議会議員一般選挙	2019年 4月 30日
参議院議員通常選挙	2019年 7月 28日
本田財産区議会議員一般選挙	2020年 1月 11日

## あごき

広報部長 五十嵐 ミネ  
副部長

私たち一人ひとりが自分の考えで投票することから始まります。国や市の将来、私たちの暮らしが今後よい方向に行くのか、そうでないのか、投票することでの自分の考えをきちんと表していくことが大切です。他人任せにしているのは後悔します。今年には特に選挙が多く、現状を見つめ直すチャンスです。複雑化する国際社会において、日本の果たす役割は益々重要となっております。また国内においては憲法改正の動きもあり、国民投票では18歳以上の国民の意思表示が重要となります。まずは身近な4月の県議会議員選挙・市議会議員選挙の投票から始めようではありませんか。

### 編集委員

阿部あつ子(部会長)  
塚田 朋弘 関川 イク